

海外語学研修（台湾） 報告書

医療科学部 放射線技術学科 2回生 谷 友香利

私がこの研修に参加しようと思った理由は、様々な経験をしてみたいという思いと、普通の海外旅行と違い、海外に友人を作りやすいイベントだと思ったためである。そして後者の予想通り、6人のボランティアの学生達と仲良くなることができた。



参加してみて、改めてコミュニケーションの難しさと楽しさを感じることができた。日本語以外で会話するのは初めてであり、その上私はコミュニケーションを行うのが苦手なため、なかなかうまく話しかけることができなかった。しかし台湾の学生方が積極的に沢山話しかけてくれたおかげで、少しずつではあったが会話を楽しむことができた。ただし、恥ずかしながら今後はリスニング力を磨く必要を感じた。

また、文化の違いも面白かった。一番顕著だったのがトイレ事情である。海外では多いらしいが、トイレトペーパーは持ち込みで、トイレに紙は流せない。慣れるまでトイレに流してしまうこともよくあるらしい。観光地のトイレには、言葉が通じなくてもわかるよう絵の注意書きがされているところもあった。

病院見学では、國泰総合病院と臺安医院を見学させていただいた。今回行った病院では、技術的な面では日本とあまり差異はないように感じた。検査の一連の流れを動画にして間違い探しをさせることで学習を動的なものにする工夫がされていたり、予防医学を目的としたプログラムが実際に行われており、興味深かった。



今年度は参加者全員初参加ということで、多くの不安があったが、経験者の方々や先生方、事務の皆様、台湾のボランティアの方々のおかげで無事研修を終えることができた。非常に貴重で、面白い経験ができた。

最後に、学長先生、指導して下さった先生方、事務の皆様、江本先生、ボランティアスタッフの皆様、一緒に参加した皆、後押ししてくれた家族へ、ありがとうございました。